

# 2015年度星まつり 神話劇『アルゴ船の冒険』

## キャスト

- ① アイソン …… 主人公。性格は主人公気質。
- ② メディア …… ヒロイン。実は魔法使い。
- ③ ペリアス …… アイソンの叔父。イオルコス王。悪人面。
- ④ アイソン …… アイソンの父。元イオルコス王。六十歳のおじいさん。
- ⑤ ヘラクレス …… 冒険の仲間。テンションが高い。
- ⑥ ヒュラス …… ヘラクレスの従者。美少年。
- ⑦⑧ ニンフ達 …… ヒュラスに恋をしてしまう。
- ⑨ アイエテス …… コルクス王。
- ⑩ 竜 …… 凶暴だがママには弱い。
- ・ しゅげんくん…… 摩耶山天上寺のゆるキャラ。(⑪着ぐるみ+⑫声)
- ・ モリンくん …… 神戸市立森林植物園のゆるキャラ。(⑬着ぐるみ+⑭声)
- ⑮ ナレーター …… (声のみ)
- ⑯ マーヤ …… 摩耶山の妖精。

※その他に、アルゴ船を持って出てくる黒子が必要。

## 小道具

アルゴ号、ペットボトル、刀、黄金の羊の毛皮 ほか(自由に考えてください)

## ストーリー

### 0 プロローグ

(マーヤ、上手側に立つ)

マーヤ…みんな、こんにちは！私は摩耶山の妖精のマーヤ。毎年摩耶山の星まつりを楽しみしているの。今からみんなに紹介するのは、昔々ヨーロッパにあった、イオルコスという国のお話よ。

おや？あそこにいるのは誰かしら？ (下手側を覗き込む)

(マーヤ、上手にはける)

### 1 アイソンとペリアス

(下手からペリアス登場)

ペリアス…俺様はこのイオルコスの王、ペリアス様だ。かつてこの国は、アイソンという

俺様の兄が支配していたが、アイソンはもう六十歳、結構な年だ。それに加えて、その息子のアイソンがとんでもないやんちゃ坊主でな。面倒をみるのが大変そうだったから、俺様が代わりに王様になってやったのだ。やれやれ、全く困ったものだ。

(上手からアイソン、アイソン登場、ペリアスは彼らに気づかず偉そうな態度で演説を続ける様子)

アイソン…(ペリアスを睨み付けながら) くそつ、ペリアスめ、自分が王様になりたかっただけのくせに、でつち上げ話を並べ立ておつて…

アイソン…まあ、父上がいい歳だったのは、間違つてないけどね。老眼も進んでるし…。

アイソン…おい、うるさいぞ。

アイソン…(アイソンの顔の前に、二本指を突き出して) はい、これ何本？

アイソン……さ、三本かの？

ペリアス…(二人に気づいて、偉そうに) おお、これは我が兄のアイソンと、息子のアイソンじゃないか。

アイソン…おお、ペリアスよ、王様のお仕事いつもご苦労なことじゃ。ところで、我が息子のアイソンのことなんじゃが、あと三年で成人じゃ。もう手もかからなくなつてきた。どうだ、あと三年経ったら、アイソンに王の位を譲らないか。

ペリアス…(少し考えて) よし、いいだろう。それまでの残り三年間、しっかりお勉強するんでちゆよ。(ペリアス、小ばかにするように手を振りながら下手にはける)

(アイソン、上手にはける)

ナレーター…こうしてペリアスは、三年後、王の位をアイソンに譲ることを約束しました。

アイソンはその間、必死に修行に励みました。そして、約束から三年が経ちました。

## 2 ペリアスの要求

(ペリアス、下手から登場)

アイソン…ペリアス様、約束です！王の位を私に譲ってください！

ペリアス…えーっ、そんな約束あつたっけえ？

アイソン…ふざけてるんですか！(詰め寄る)

ペリアス…ジョーク、ジョーク。いいだろう。ただし、条件がある。王様はな、誰でもなれる物ではないのだ。お前が自らの能力を証明できれば、俺様は王の位をお前に譲ろう。

アイソン…能力の証明…

ペリアス…このイオルコス国の、遙か海の向こうには、コルキスという国がある。ここには、かつて我が一族のものであつた、黄金の羊の毛皮があると聞いている。

俺様はぜひこれを我々の元に取り戻したい。これをお前が取ってくることができれば、お前を王にふさわしい者として認めよう。

イアソン…承知致しました。

ナレーター…こうして、イアソンは、コルキスの国に向けた冒険に出ることになりました。

イアソンは国中に呼びかけ、冒険の仲間を集めました。

### 3 出発

(ヘラクレス、ヒュラス、下手から登場)

ヘラクレス…俺はギリシヤ神話いちばんの人気者、ヘラクレス！お手伝いするぜ！

ヒュラス…と、ヘラクレス様のお供をさせていただいている、ヒュラスです。お力になれ

ればいいのですが…。

ヘラクレス…おい、イアソン！海を渡らなきゃいけないのに、船はどうするんだ？

イアソン…ああ、そうだった。アルゴ、カモン！（効果音とともに、上手からアルゴ号

登場）ご紹介しよう、アルゴ号だ！

ヘラクレス…わあ、立派な船だなあ。

イアソン…よし、すぐに出発するぞ。二人とも、船に乗り込んで！しゅっぱーつ！

(イアソン、ヘラクレス、ヒュラス、船に乗りこむ仕事。そのまま船と一緒に下手にはける)

ナレーター…イアソンとその仲間たちは、イオルコスを離れ、コルキスの国に向かって出

発しました。長い船旅の始まりです。

アルゴ号は途中、キオス島という島に立ち寄りました。

### 4 キオス島

(イアソン、ヘラクレス、ヒュラス、下手から登場。ヒュラスはペットボトルを持っている)

イアソン…ここがキオス島か。よし、ヒュラス、ちよつとあそこの森で水を汲んで来てく

れないか？僕とヘラクレスは船の点検をしているから。

ヒュラス…はい、行つて参ります！

(イアソン、ヘラクレス、下手にはける)

ヒュラス…ええと、水、水…あ、あそこに泉が湧いている！よいしょ。(しゃがんで水をく

む仕事)

ナレーター…この様子を影からみていた者がいました。森にすむ妖精たちです。

(ニンフたち、上手から登場、ヒュラスの様子を窺う)

ニンフ1…まあ、なんて美しい男の子なんでしょう…！私、惚れちゃった。

ニンフ2…声をかけてみましょうよ。

(ニンフたち、ヒュラスに近づく。ニンフ1がヒュラスの腕を掴む)

ニンフ1…ねえ、あなた、私たちと一緒に遊ばない？

ヒュラス…え、あいや、ちよつと…

ニンフ2…恥ずかしがってるわ、かわいい♡ねえ、いいでしょう？(ニンフ2も腕を掴

み、二人でヒュラスを無理矢理連行する)

ヒュラス…うわあああ、助けてええええええ。

(ニンフ達とヒュラス、そのまま上手へはける、ヘラクレスが下手から走って登場)

ヘラクレス…おい、ヒュラス…大丈夫か？いない…おい、ヒュラス！おい！(歩いて探し回る)

(アイソン、下手から登場)

アイソン…どうだ、見つかった？

ヘラクレス…ダメだ、森は広いし、日も暮れて来たし…

アイソン…よし。ヘラクレス、君はここに残ってヒュラスを探してくれ。

ヘラクレス…でも、一人で大丈夫か？

アイソン…ああ。なんとかするさ。

ヘラクレス…わかった。健闘を祈る。

ナレーター…こうして、アイソンはキオス島でヘラクレスと別れを告げました。

(ヘラクレスとアイソン、別れを交わしてからヘラクレスは上手へはける)

そして、アイソンはさらに長い航海を経て、ついにコルキスの国へとたどり着きました。

## 5 コルキス

(アイエテス、メディア、上手から登場)

アイエテス…やあやあ、我こそがコルキスの王アイエテスだ。よくぞこのような遠い地までいらしてください。ああ、こちらは娘のメディアだ。

メディア…はじめまして、アイソン様。

アイエテス…ところで、どのような要件があつて、わざわざここまでいらしたのかな。

アイソン…かつて我が国のものであつた、黄金の羊の毛皮、これを返していただくために参りました。

アイエテス…黄金の羊の毛皮、とな？ふむ…：渡してやりたいのはやまやまなのだが、残念ながら手元にはないのだ。

この王宮から2, 3時間歩いた森の奥に、一日中眠らない竜が住んでおる。

その竜が、黄金の羊の毛皮を守っているのだ。もしそなたが羊の毛皮を持ち帰りたいのであれば、そなたは自力で竜を倒さねばならぬ。

アイソン…：分かりました。きつと、竜を倒してみせます！失礼します！

(アイソン、下手にはける)

アイエテス…(がつくしとうなだれて、上手側に歩きながら)…これで何人目になるだろうか。未だかつて、竜を倒しに行くと言言したもので、無事に戻ってきた者はおらん…。(上手にはける)

メディア…まあ、なんて勇敢なお方…あの方が死んでしまうなんて、私、耐えられない…。

いまこそ、私の真の力を見せる時だわ！(下手側に走ってはける)

6 しゅげんくんともりんくん

(イアソン、刀を持って下手から登場して歩いてくる。続いてメディアが下手から登場、走って追いつく。)

メディア…イアソン様！

イアソン…あれ、貴方は王様の娘さんのメディアじゃないか。

メディア…イアソン様、このまま竜の所に向かうつもり？ダメよ、きっと殺されてしまうわ。

イアソン…でも僕は、黄金の羊の毛皮を持って帰らない訳にはいかないんだ！いったいど

うすれば…？

メディア…ちよつと私に任せて。私、こうみえても魔女なの。

イアソン…ええっ！？

メディア…お友だちを紹介するわ。しゅげんくーん！もりんくーん！

(しゅげんくん、もりんくん、下手から登場)

イアソン…ちよつと君たち、ダイエットした方がいいんじゃないかな…。

しゅげんくん…みんな、こんには！摩耶山天上寺からやってきたしゅげんくんと、

もりんくん…神戸市森林植物園からやってきたもりんくんだよ。

イアソン…こいつら頼りになるのかな…。

メディア…私は魔法のプロで、しゅげんくんは修行のプロ、そして、もりんくんは自然保

護のプロなの。

もりんくん…竜のせいで、森の動物たちが数を減らしてしまったんだ。許せない！

しゅげんくん…ぼくと遊んでくれたら、仏様の力を君にさずけるよ。

ナレーター…イアソンはイマイチ納得がいきませんでした、しゅげんくんと遊んであげました。(イアソンとしゅげんくん、あつちむいてホイをする。もりんくんは子供たちに愛想を振りまく)

しゅげんくん…ありがとう。いい暇つぶしになったよ。

イアソン…あれ…なんだか力が湧いてきた！どうもありがとう！

しゅげんくんもりんくん…じゃあね〜。(しゅげんくん、もりんくん、下手にはける)

メディア…さあ、竜のところに向かいましょう！

ナレーター…イアソンとメディアは、森の奥深くまで向かっていきました。

7 イアソン SA 竜

(竜、上手から登場)

竜…ガルル…

メディア…りゅ、竜よ！

イアソン…よおし…(竜に向かっていく)いくぞ！

竜…ガオー！

(イアソンと竜、激しい戦いを繰り広げる)

イアソン…ぐはっ!! (竜に吹っ飛ばされて倒れる) くそっ…っ、強い…。

メディア…どうしよう、このままではイアソンが負けてしまう…そうだわ! 眠りの魔法だ

わ! でも、この魔法には、会場みんなの力が必要…。

みんな! 私がせーのって言ったたら、私と一緒に「おねんねなさい」って言った

てもらえるかな? いい?

おいごるあ、竜、今何時だと思ってたんだ! いくよ、せーの、おねんねなさい!

竜…うわあ〜ママあ! ごめんなさい〜! ぐう…。(竜、寝る)

メディア…イアソン、今よ!

イアソン…うおおお! (イアソン、竜に切りかかる。竜、倒れる。)

やった!

メディア…よい子は早く寝ないとねっ。

## 8 エピローグ

ナレーター…こうして、竜を倒したイアソンは、無事、黄金の羊の毛皮を手に入れました。

(イアソン、一旦上手にはけて、黄金の羊の毛皮を持って戻ってくる)

そして、メディアと仲良くコルクスの王宮に戻りました。

(アイエテス、上手から登場)

イアソン…王様、娘さんと結婚させてください!

メディア…まあ、嬉しい! (この辺の演出はお任せします)

アイエテス…(うなずきながら) よきかな、よきかな。

(アイエテス、上手にはける)

ナレーター…結婚を許された二人は、ふたたびアルゴ船を使い、イアソンの故郷、イオル

コスの国に戻りました。

(ペリアス、上手から登場)

ペリアス…なにっ!? まさか生きて帰ってくるとは…。俺様はもう無事ではいられない。

逃げよう! (ペリアス、走って上手にはける、マーマ、上手から登場)

マーマ…逃亡したペリアスに代わってイアソンは、イオルコスの新しい王様となり、メデ

ィアは王妃様になりました。二人は幸せに暮らした、ということ。

そして、イアソンが冒険で使ったアルゴ号は、イアソンの活躍を記念して、今で

は、とも座、ほ座、りゅうこつ座、らしんばん座という4つの星座を組み合わせ

た形で、南半球の夜空に輝いています。

おしまい。